

平成 26 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 ジャパン・タスクフォース
活動テーマ	ラダー・レスキュー・システム講習会（梯子を使った救助方法）



近年、東日本大震災などの津波、台風、豪雨による土砂崩れなど、日本国内において災害が頻発しています。災害時には、消防・防災機関が保有する人材、資器材（道具）などが不足し、救助に時間を有してしまい、その結果、被害が大きくなります。

そこで、我々は、災害発生時に現場にいち早く駆け付け、救助活動を行う消防・防災関係者に向け、従来の救助方法に組み合わせが出来、尚且つ、消防に限らずどこにでもある梯子（はしご）やロープを使用して、最小限の資器材（道具）で、安全で効果的な救助方法の紹介を行っています。

これらの技術・指導は、力学的根拠に基づき、災害対応先進の米国で専門トレーニング過程修了者・米国学認定の災害救助コース修了者などが担当、またプログラム構成の際には、日本の風土を考え、現役の日本の消防士の意見を参考にしました。

講習全体をとおして、救助方法・道具の特性を知り、災害時の危険な現場の中でも、救助者自身が安全に活動を行うことの重要性、また汎用性に優れた方法、現場状況に見合った方法を選択することにより、迅速な救助活動、要救助者の救出に繋がることを伝えています。

今回、2年連続で助成を頂いたことで、消防団員や防災関係者の受講も増え、消防学校や各消防本部からの講師派遣の要請も増えました。徐々にではありますが、周知され以前に比べて、需要も増えています。また、この講習会で紹介した技術が、実際の救助現場で使われた例もあります。今後も継続して講習会を開催し、消防・防災機関をはじめ市民の皆様への防災力を高めるため、啓蒙啓発活動を行っていきます。一般市民の皆様もお気軽に見学いらしてください。皆様のお越しをこころよりお待ちしております。